

なごやきょうく  
カトリック名古屋教区

しんと びょうにん せいたいはりょう てび  
信徒による病人の聖体拝領 手引き

びょうき こうれい にちようび きょうかい い ことができない方へ—  
—病気や高齢で日曜日に教会に行くことができない方へ—



## はじめに

イエスは苦しむ人々、特に病人に対して限りないやさしさを示されました。教会は、このイエスの心を大切にして病人を訪問し、祈り、聖体拝領や病者の塗油の秘跡を授けることで彼らに神さまの助けと共同体のつながりを示してきました。教会としてのこの大切な役割は、司祭だけでなく共同体全体で果たすことが求められています。

名古屋教区としては、小教区の大切な役割として病人訪問を勧めるだけでなく、信徒による聖体奉仕も含めることにしました。これは、個人的な訪問とは違って、教会として聖体を病人のところに届けるという意味があり、主の日に祝う感謝の祭儀とのつながり、また、共同体との交わりの中でおこなう奉仕です。もちろん、信徒が聖体奉仕をおこなうとしても、司祭は大切な務めとしてこれまで通り、病人の訪問をおこないます。

ただ、教会に来られない方が秘跡にあずかる機会を増やすため、あるいは、さまざまな事情で家族でなければ訪問できない場合などのために、信徒による聖体奉仕が求められます。

## て じゆん 手 順

### 1. 司祭にお願いをする

聖体奉仕への希望は、まず司祭に病人の状況を説明してお願いします。

原則は日曜日(主日)のミサ後になりますが、事情によっては平日にお願いすることもできます。

### 2. ミサにあずかる

病人のために聖体奉仕を家族がしても良いという許可をもらったら、まず主日のミサに参加します。そのとき、あらかじめ聖体を運ぶ容器(ピクシス)と訪問する病人の名前と奉仕する人の名前を書いて祭壇の上に置いてもらいます。

### 3. ミサの共同祈願で、病人の為に祈ってもらいます。

聖体拝領の後、派遣の祝福の前に司祭は奉仕者を前に招き、「あなたを聖体奉仕者として派遣します」と言って聖体に入った容器(ピクシス)を奉仕者に渡します。奉仕者はそれを受け取り、ミサが終了するとともに病人のいるところに向かいます。その際、当日の「聖書と典礼」があれば一緒に持って行きます。寄り道をしないで、まっすぐ病人のいるところに行きます。

5. 式次第にしたがって病人の聖体拝領をおこないます。病人の世話をして教会に行けなかった家族や同席の信徒も聖体拝領をすることができます。

6. 聖体拝領が終わったら、後日、聖体を入れる容器(ピクシス)を教会に戻します。

びょうにん せいたいはいりょう しきしだい  
病人の聖体拝領 式次第

あいさつ

できればテーブルに十字架をおき、ロウソクを灯す。

司式者は聖体の器を台の上に置き、一礼する。つづいて次のようなことばであいさつをする。

司： 主イエス・キリストの恵みと喜びが  
わたしたちを力づけてくださいますように。

一 同： アーメン。

かい しん  
回心

司式者は次のようなことばで回心をすすめる。

司： 皆さん、主の食卓にあずかる前に、  
わたしたちの罪を認め、心を改めましょう。

司： 全能の神と、

一 同： 兄弟の皆さんに告白します。

わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪を犯しました。

聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟の皆さん、

罪深いわたしのために神に祈ってください。

司： 全能の神がわたしたちをあわれみ、

罪をゆるし、永遠のいのちに導いてくださいますように。

一 同： アーメン。

せいしろうどく  
聖書朗読

できれば「聖書と典礼」の福音の箇所を朗読する。

時間があれば、その日のミサの説教や、共同祈願で祈ったことを伝える。

## 主の祈り

司式者は聖体の入った器のふたを開ける。続いて次のようなことばで「主の祈り」に招く。

司： 神のことばで養われたわたしたちは、

今、主の食卓にあずかるよう招かれています。

主のからだを頂く前に心を合わせて主の祈りを唱えましょう。

一同： 天におられるわたしたちの父よ

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みところが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとのかてを、今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。

わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

司： いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、

キリストの平和をお与え下さい。

## 聖体拝領

司式者は深く礼をしてから、パテナを添えて聖体を奉持し、病人に示して言う。

司： 神の小羊の食卓に招かれたものは幸い。

一同： 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、

あなたをおいて誰のところにいきましょう。

病人に聖体を授ける。

司： キリストの御からだ。

拝領者： アーメン。

はいりようきがん  
拝領祈願

せいしよ てんれい はいりようきがん つぎ いの とな  
「聖書と典札」の拝領祈願か、次の祈りを唱える。

司 : ……祈りましょう。

めぐ ぬた かみ  
恵み豊かな神よ、

おんこ し きねん ひせき  
御子キリストは、その死を記念するとうとい秘跡を

きょうかい のこ  
教会に残してくださいました。

しゅ う すく ちから  
主のからだを受け、救いの力にあずかるわたしたちが、

しゅ し つげ し  
主の死を告げ知らせることができますように。

わたしたちのしゅ  
わたしたちの主イエス・キリストによって。

一 同： アーメン。

へい さい  
閉 祭

じぶん しゅうじか  
自分も十字架のしるしをしながら言う。

司 : 全能の神、父と子と聖霊がわたしたちを祝福し、

あく まも えいえん みちび  
すべての悪から守り、永遠のいのちに導いてくださいますように。

一 同： アーメン。

司 : 賛美と感謝のうちに。

一 同： アーメン。

**カトリック名古屋教区 信徒による病人の聖体拝領 手引き**  
**—病気や高齢で日曜日に教会に行くことができない方へ—**

---

2021年4月1日 初版発行

編集責任 カトリック名古屋教区司祭評議会

連絡先 〒461-0004 名古屋市東区葵 2-6-35 カトリック名古屋教区センター内

TEL : 052-935-2223 FAX : 052-935-2254 E-mail : curia@nagoya.catholic.jp

---

